

## 添付資料3 高校の教員を対象としたアンケートの概要及び結果

### 高等学校教員アンケート調査

#### < 基本情報 >

##### 対象者

- ・ 岐阜県内 9 校，愛知県内 3 校の高校の教員
- ・ 有効回答数は155人（回収率100.0%）

##### 実施時期

令和元年12月16日～12月20日

#### < 調査結果概要 >

経営学課程への進学を薦めたいかという設問に対して，積極的に薦めたいが32名（全回答者数の20.6%），薦めたいが60名（38.7%）で，あわせると92名（59.4%）の教員が経営学課程への進学を生徒に進めたいという結果が得られた。

また，経営学課程の特色の中で，「とても魅力を感じる」，「ある程度魅力を感じる」と回答した教員数が多かった項目は，「体系的フィールドワーク」（88.4%），「まちづくりデザインプログラム」（87.7%）であった。

## 依頼にかかる文書

令和元年12月12日

〇〇県立●●高等学校長 殿

岐阜大学新学部設置準備室長  
肥 後 睦 輝

岐阜大学経営/マネジメント教育部門に関するアンケートへのご協力について（依頼）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申します。

平素は本学の教育研究に対し格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本学では数年来、地域の皆様のご要望に応えるべく、経営/マネジメント教育部門の設置について準備を進めてまいりました。現在、新しく制度化された学部等連係課程制度を活用した教育課程として、経営学課程（仮称）を令和3年4月に設置することについて検討中です。

設置審議会への申請書類では、学生の確保の見通し等を説明することが求められており、説明の根拠として、高校生へのアンケート結果等を添付することとされております。

つきましては、岐阜県及び愛知県の高校生等を対象としたニーズ調査を別添要項のとおり計画いたしましたので、年末のご多忙な時期で誠に恐縮ですが、協力いただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

## 岐阜大学「経営学課程(仮)」に関するアンケート実施要項

### 【アンケートの対象】

- 高校生向けは、基本的には文系クラスの2年生を対象とさせていただきますが、理系であっても興味がある生徒さんにも参加していただけると幸いです。
- 高校教員向けは、基本的には進路指導ご担当の先生を対象とさせていただきますが、ご担当に関わらず、できるだけ多くの先生のご意見がいただけると幸いです。

### 【回答方法について】

本学の担当教員が日程調整のうえ貴校を訪問し、説明パンフレットに基づき説明のうえ、その場で生徒さんに記入いただいたアンケート用紙を回収します。所要時間は説明を含め30分程度を想定しています。

上記のご対応が難しい場合は、ご担当の先生にご説明のうえ、適宜の方法で生徒さんへ配布・回収いただき、着払いの郵便バックでご返送いただきます。

### 【返送期限】

返送でご対応いただく場合は、12月19日(木)までに本学に到着するよう返送願います。

### 【返送先】

〒501-1193  
岐阜市柳戸1番1  
岐阜大学新学部設置準備室  
電話:058-293-3440

### 【お問合せ】

岐阜大学新学部設置準備室  
事務主幹 石原 淳  
電話:058-293-3440  
メール:gjng00002@jim.gifu-u.ac.jp

# 岐阜大学で 新しい**経営**を 学びたい。



## 岐阜大学が求める「新しい経営」とは？

地域が抱える課題は、ビジネスやまちづくり、観光など、経済活動や生活を支える様々な分野に存在しており、今後さらに深刻化すると予想されています。複雑かつ多様化する地域課題に対して、**多面的にモノゴトの本質をとらえ、新たな発想や実践によって問題を解決する能力をもった人材**が求められています。

そこで、**ビジネス・まちづくり・観光**を中心にして、**多面的思考やマネジメント思考**を身につけて、的確な経営判断ができ、経営にイノベーションをもたらし、活力ある豊かな社会の創造、すなわち地方創生の実現に貢献できる人材を育成します。

## 新しい学びの場「**経営学課程**（仮称）」を**岐阜大学**に設置予定

### 経営学課程（仮称）とは？

令和3年4月、岐阜大学に、複数の学部を横断して経営/マネジメントを軸とした**ビジネス・まちづくり・観光**について学ぶことのできる「**経営学課程**（仮称）」を、これまでの学部教育を超えた新しい制度<sup>※</sup>を活用し、設置する予定です。本課程では、学部を横断し、さらに実社会と強くつながることで、より実践的なカリキュラムを通常の学部と同じく4年間で学び、**学士（経営学）**の学位を取得します。

本気でよりよい社会をつくりたい学生を求めます！

※ 文部科学省が打ち出した学部横断的課程という制度を利用しています。詳しくはQ&AのQ3を参照。

### 社会で魅力的に活躍するための力を引き出します！

デザイン思考論やプロジェクトマネジメント論など、デザイン経営の視点を組み込んだ教育がカリキュラムから、新しい価値を生み出し、時代をつくる力を得ますので、社会に出て即戦力として活躍することができます。

### 経営学課程（仮称）の5つの特色

- ① **地域課題に対応した教育**  
主としてビジネス・まちづくり・観光へ貢献できる人材を育てます。
- ② **岐阜大学の学部を横断**  
学部横断的なカリキュラムで幅広く、他学部の学生とともに学ぶ機会もあります。
- ③ **学びと実践の往還型教育**  
講義と現場での実習を繰り返す、理論と実践を定着させる教育で実践的課題解決能力を身につけられます。
- ④ **学び場は実社会**  
実習では企業や自治体の現場を対象とするので、実社会の各所で活躍する人々に抱れながら実践的な経験を多く積むことができます。
- ⑤ **きめ細かな指導**  
学生30名（予定）に対して教員14名（予定）というコンパクトな体制で、きめ細かい充実した指導を受けながら学びます。

岐阜県の将来を担うビジネスをデザインする人材、まちづくりを行う人材、観光をデザインする人材、3種類の個別の能力に特化した人材ではなく、工学・法学・社会科学等を踏まえた経営/マネジメント教育により、デザイン経営的視点から資源を活かした高力づくりに貢献できる人材育成を目指します



2023年度から、まちづくり、観光、それぞれの専攻で学ぶための学部横断的課程の導入が予定されています。

## リアルな実践教育：経営学課程（仮称）の主なカリキュラム※

	多面的思考力	データ分析・論理的思考力	コミュニケーション力	デザイン思考による課題発見・解決力	専門知識とマネジメント力	起業力と地域貢献力
4年次	総合力の修得と卒業成果の発表・卒業研究 英語的能力の修得 ●専門課題Ⅰ（3年次期）-Ⅱ（3年次期）-Ⅲ（4年次期）-Ⅳ（4年次期）					
3年次	専門的知識の軸を拓けることと多面的思考力を兼ねて課題解決に活用できる	データ収集・分析方法を応用して論理的結論を導き出すことができる	コミュニケーション力を高めることで、多様な人材とのコーディネート力を発揮できる	デザイン思考により企業、自治体の課題を発見・解決することができる	企業や自治体の活動に関する専門知識を応用し、企業や自治体の経営の向上に貢献できる	専：政治経済科目 修：社会学部科目 修：地域社会学（COC+） 以：社会経済科目 専：北広島大学経済科目 特色●：実務・演習 起業力により地方創生に貢献することができる
2年次	多面的思考力に必要な基礎的知識、専門的知識を修得する	他大学、他学部他課程科目、専門科目を履修し、データ収集・分析方法を応用して修得する	異文化理解の心でコミュニケーション力も活用することができる	企業、自治体の課題に関する専門的知識を修得する	企業や自治体の活動に関する専門的知識を修得する	起業力に関する基礎を応用して地方創生に貢献する基礎を修得する
1年次	幅広い分野の経営科目を履修し、多面的思考力に必要な基礎的知識を修得する	データ収集・分析方法の基礎を修得する	語学・コミュニケーションの基礎を修得する	企業、自治体の課題に関する基礎的知識を修得する	企業や自治体の活動に関する基礎的知識を修得する	起業力に関する基礎的知識、考え方を修得する

※ 科目科目の一部です。内容は予定であり、今後、変更になる場合がございます。

本課程では、企業や自治体などが直面しているリアルで複合的な課題の解決に向け、数年間継続して実習に取り組む科目を必ず履修することとしています。この実習と、関連する講義を交互に繰り返す行うことで、実践とそれに必要な知識を段階に応じて学ぶことができる「往還型」授業を行います。

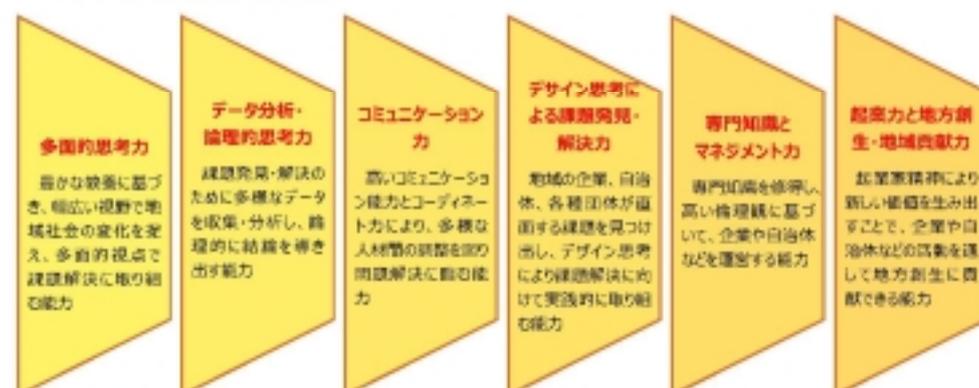
また、リアルな課題解決へ向けて、自ら情報収集と試行錯誤をしながら積み上げる学習（課題解決型学習：PBL）を行い、座学が中心だったこれまでの大学教育に対して、高い実践力を得ることができます。

### 卒業したら、ここまで成長します！

本課程では、新たな発想や実践によって問題を解決して時代を拓く能力を持つ人を育てます。

- ✓ 経営に関する問題解決ができる
- ✓ 地域における最適な経営戦略がわかる
- ✓ 企業・自治体等でリーダーとして活躍する

### <4年間で身につく能力>



### Q1 学部じゃなくて学部等連係課程？

これまで、入りたい学部を選んで入学し、その学部所属して4年間学ぶことが当たり前でした。ひとつの専門性は深まりますが、社会のしくみをつったり、これからのまちのライフスタイルを創造するためには、こうした学部で深まる知をまたいで、総合的に考えたり、学んだりする方法がいよいよ必要になってきています。そこで、新たな枠組みとして登場したのが、「学部等連係課程」です。岐阜大学の経営学課程（仮称）では、既存の学部を横断するようなかたちでプラットフォームを築き、社会のリアルな現象・問題に向き合う総合的な力を学びます。まさに、デザイン経営的視点からビジネス・まちづくり・観光の課題に取り組む、最先端の学び舎となります。

### Q2 入試に必要なことは何ですか？

一般入試前期日程、推薦Ⅱとともに大学入試センター試験及び課題発見、論理的思考力、自分の考えを伝達する力を総合的に評価する小論文を課すとともに、前期日程では個別学力試験を、推薦Ⅱでは面接を実施します。推薦Ⅱの面接においては、高等学校までの学習過程で養成された学力の三要素（1. 知識・技能、2 思考力・判断力・表現力、3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を評価します。

（入試区分や選抜方法等については予定であり、変更となる場合があります。）

### Q3 卒業後はどういった就職先？

本課程では、授業の中で企業や自治体等と綿密に連携を図っており、社会が求める人材像を教育課程に組み込んでいます。そのため、卒業後は、地域に貢献する企業や自治体に就職することが期待されるだけでなく、広範囲に市場を有するグローバル企業に就職しつつも地域に貢献することも想定されます。例えば、起業やパラレルキャリアです。パラレルキャリアとは、主の仕事以外に仕事を持つことや、非営利活動に参加することによる多様な働き方です。本教育課程では、企業経営を学ぶことに加え、自ら業を創出する力も養い、支援する体制が整っています。

## 社会が君を待っている！

本課程を卒業すると、4年間で経験した豊富な実践と向上した能力によって、自分の求める未来を切り拓くことができます。地域の課題を実際に解決するためのビジネスを展開するために起業もできますし、いまある企業に入り、有能な右腕として活躍もできます。また国の機関や自治体に所属して、創造的にルールを変革し、これまでにないクリエイティブな取り組みを仕掛けることに挑戦することもできます。なにより、どこへ行ってもイノベティブに「コト」を展開できるあなたを、多くの企業が即戦力として欲しがることになります。そこで何をするか。君の力でこの社会をより豊かで楽しく暮らせる社会にしたいと思いませんか？

#### 【お問合せ先】

岐阜大学（担当：石原）

E-mail：gjng00002@jim.gifu-u.ac.jp

TEL：058-293-3440

FAX：058-293-3441

〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1 岐阜大学





IV. 岐阜大学「経営学課程（仮称）」が設置された場合、生徒に進学を薦めたいと思われませんか。また、それを選んだ理由を記載下さい。

- 積極的に薦めたい
- 薦めたい
- どちらかといえば薦めたい
- あまり薦めない
- 薦めない

V. 岐阜大学「経営学課程（仮称）」に興味を持った学生に対して、その他の選択肢としてどのような進学先を薦めますか。もしくは、同様なケース（商学・経済学・経営学関係）に対して進めてきた進学実績があれば、ご記載下さい。

(            ) 大学 (            ) 学部 (            ) 学科/コース/プログラム  
(            ) 大学 (            ) 学部 (            ) 学科/コース/プログラム  
(            ) 大学 (            ) 学部 (            ) 学科/コース/プログラム

VI. 新教育組織「経営学課程（仮称）」について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。

VII. 記入者についてご記載下さい。

在籍している高校 高校所在地 (            ) 県 (            ) 市・町・村

国立             公立             私立

(            ) 高校

勤続年数     10年以内     11年から20年     20年以上

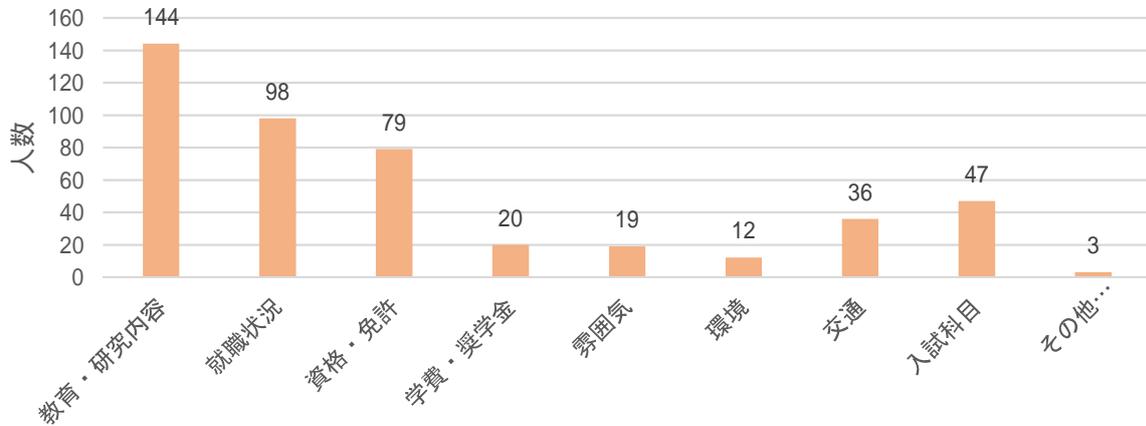
担当科目    (            )

ご協力ありがとうございました。

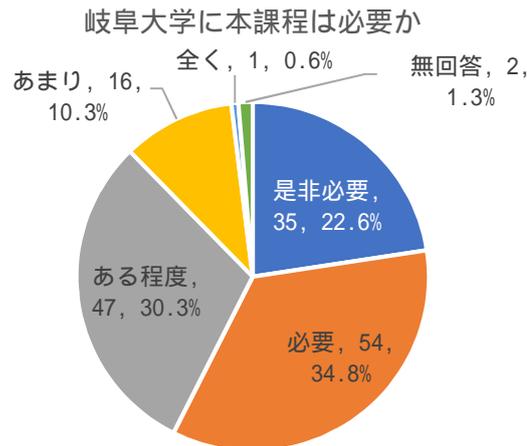
アンケート結果詳細

【高校教員】岐阜大学 経営学課程（仮称）に関するアンケート(n=155)

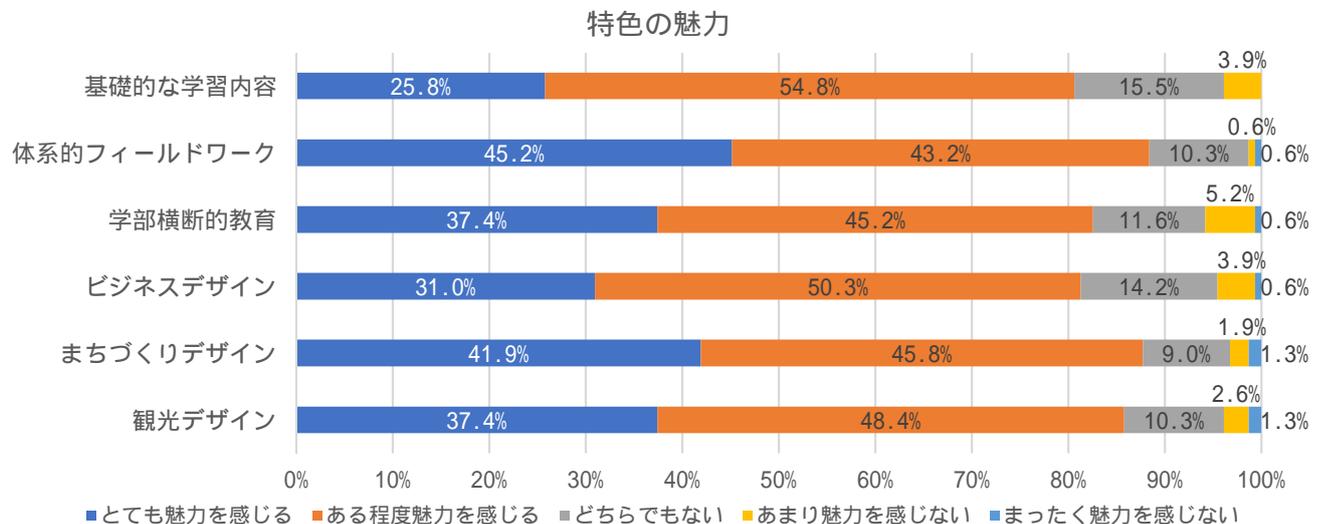
あなたの生徒に、進学先の大学を勧める基準として重視されているものは何ですか。（複数回答可）



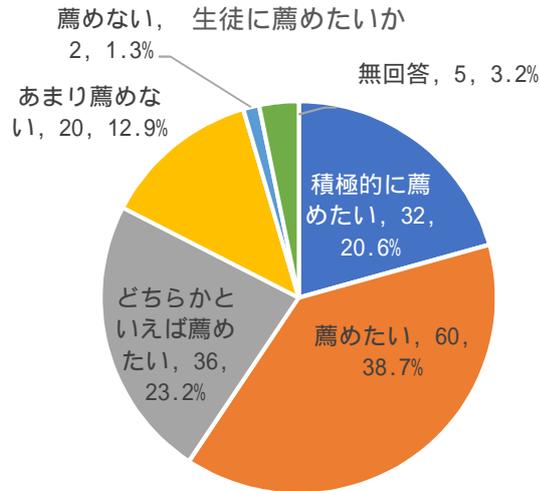
岐阜大学は、企業や自治体で活躍する人材育成を目的とした、「経営学課程（仮称）」の設置を予定しています。岐阜大学に本課程は必要だと思えますか。



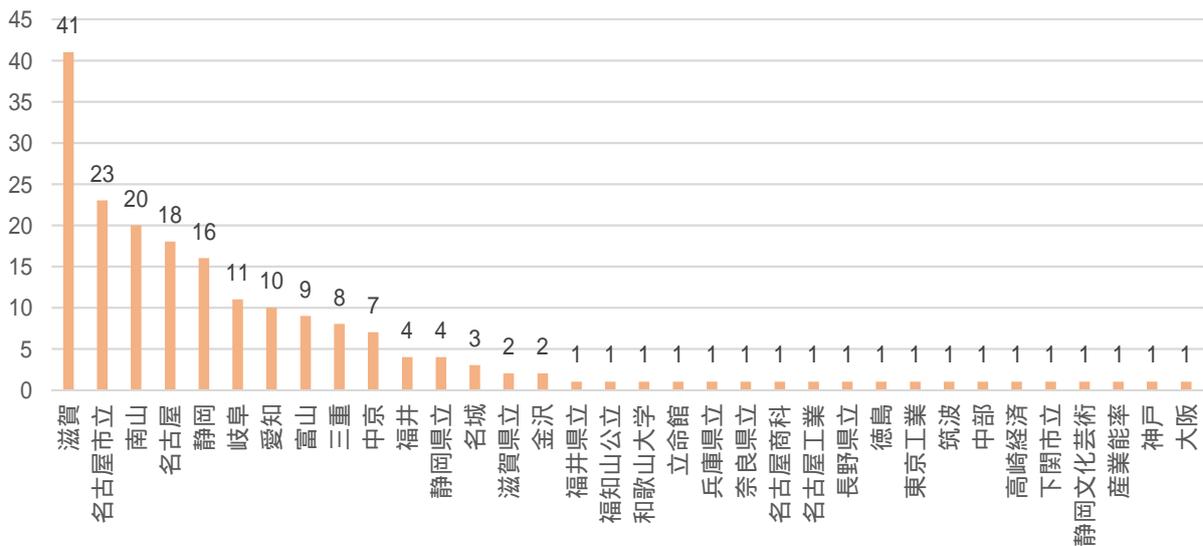
「経営学課程（仮称）」では、次のような特色ある教育を行う予定です。これらの特色について、どの程度魅力を感じますか。それぞれ、あてはまる番号1つに をつけてください。



・岐阜大学「経営学課程（仮称）」が設置された場合、生徒に進学を薦めたいと思われませんか。また、それを選んだ理由 を記載下さい。 別添1

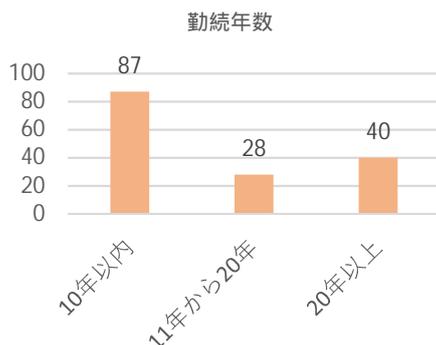


・岐阜大学「経営学課程（仮称）」に興味を持った学生に対して、その他の選択肢としてどのような進学先を薦めますか。もしくは、同様なケース（商学・経済学・経営学関係）に対して進めてきた進学実績があれば、ご記載下さい。（1人3大学まで複数回答可）



・新教育組織「経営学課程（仮称）」について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。 別添2

・記入者についてご記載下さい。



・岐阜大学「経営学課程（仮称）」が設置された場合，生徒に進学を薦めたいと思われませんか。また，それを選んだ理由を記載下さい。

#### <積極的に薦めたい>

- 岐阜に経営を専門に学べるところがなかったため
- 岐阜の活性化のため
- 岐阜県内にない公立文系の学部であり、魅力的である。
- 岐阜大学（地元）に進学したいと思っている生徒は多いが、現状だと、学部が限られるから。
- 教育学部以外で文系の生徒の進学先として有力だと思う。（岐阜大学は理系中心の大学と思われがちなので。）
- 興味・関心があり、将来の職業選択時に希望に近いものがある生徒には地元でもあるため、薦めていきたい。
- 県内で経済が学べる。
- 今まで、学部がなく他県の大学ばかり薦めてきたため。
- 地域のために学んで還元してほしい
- 地元には薦めたい大学がない
- 文系の上位生徒の進学先が限られるため
- 「地域課題に対応した教育」がなされるから。「学生30名に教員14名というきめ細かな指導」がなされるから。
- もうひとつ岐阜県のランドデザインが描けない現状を打破するために産業の連携で学問的研究が裏打ちされた環境開拓が必要となる
- 学生30名に対して教員が14名と手厚く指導が受けられ、かつ観光について詳しく学ぶことができそうのため。
- 地域科学部にない学びができる。
- 地元で活躍する生徒を育成したいため
- 地元の大学に進学して地元就職してほしいから。
- 保護者・生徒ともに関心のある学部である。中部エリアにできれば、進学先の幅が広がる。岐阜に愛着をもってくれる人材が増える。
- これまで、「経営」を学ぶには、他県に進学する生徒が多い中で、地元国立大学で学べるならば、生徒に薦めやすい。また、学生30名に対し、教員14名は大きな魅力だと思います。
- 以前より、経済・経営系の希望者が他県の大学に行かざるを得ない状況となっていて困っている。
- 岐阜県には、国公立の経営学系の学部がないので、生徒に進学を薦めたい。
- 岐阜大学を目指す生徒も多いので、今まで無かった経営学課程は、とても魅力に感じます。
- 岐阜大学志望の生徒で、経済・経営系の学部がなく、他大学を考えたことがあるから。
- 経営学を学べる国公立が通学圏内にないから。
- 経営学を専門とした家庭のある国公立大学が近くにないため。
- 現状、県内に文系の生徒をすすめる学部が少ない。経営学が設置されるとニーズがあるのではないか。
- 学部をきっちり決められない生徒も多いから。

#### <薦めたい>

- 「地元」を重視する生徒の選択肢が広がるため
- 岐大に文系の生徒にも進路先が増えてよいから。
- 岐阜県で働き、公私の面で地方再生を支える人材は本県では必要であると思われるから。
- 岐阜大学だから。

- 近くに新しく学べる場ができれば、大いに薦めたい。
- 近くの大学に通いたい(実家から)という生徒が多いため。卒業後に、地元で活躍したいという生徒に薦めたい。
- 自宅から通える大学と条件にしている生徒が多数いるため。
- 生徒にとって最も身近な大学だから
- 生徒の選択肢が増えるから
- 生徒の地元志向は年々強くなっているように感じます。
- 地元で資する生徒(学生)を育ててほしいから。
- 地元の大学として条件に当てはまる生徒がいた場合、薦めたい。
- 特に地元への貢献を考えている生徒には、あっていると思うから。
- 文系でも地元の大学への進学希望者が多いため
- 文系で地元の大学への進学希望者が多いため
- すでにある他学部でも実践的な学びをしているため期待している。
- 横断的なカリキュラムと実社会での経験を積めるという点に魅力を感じます。
- 学部横断的教育や、実社会とつながれる環境が魅力的
- 就職する上で即戦力となる力を育成することができると感じるため、多方面に適用する知識・技術を習得できそうであると感じるため。
- 将来の職業につながりそうである一方、新設で卒業生がおらず不安もあるため。
- 地域に密着したユニークな経営学が学べそうである。また、観光学を学びたいという生徒も多く、そういう生徒にも示唆できる進路となりそうだから。
- 地域科学部より専門的なことが学べそうだから。
- 訪日観光客の人数が増える中、その外国人観光客をリピーターとして取り込んだり、インターネット上での評価につなげたりするためには、大学地から実地での経験を通して学んだ人材が必要だと思う。地方の活性化につなげるためにも薦めたい。
- 経営には企業、地域、自治体など、様々なレベルの経営があるため、また分野も多岐にわたるため、内容によっては薦めたい。
- 公立の経済系が岐阜にないから。アクセスの面で便利。地域科学の時の内容を引き継いでいる。
- 今まで岐阜県の国公立大学に無かった分野で期待をするが、将来的にどうなっていくかの不安も少しあるため。
- 地域活性化の一助になること、経営学を学びたい生徒が増加傾向にあり、岐阜県内で薦められる大学がないため。内容に特化した学部であり、生徒に進学を薦めやすい。
- 地元の国公立で経営を専門的に学ぶことができるから
- 地元の国公立大で経営/経済、法律を学ぶ場がないということは、生徒にとってかなりマイナスだと感じてきました。しかし、学部等連係課程が有効に働くのか、地域科学部とのすみ分けなど、高校が生徒に説明するのに、漠然とした部分が大きいです。
- 通えるところで国公立の経営学が少ないから。
- 通える範囲であり、近くには国公立であまりない経営学部であるから
- 東海地区の国公立で経営学について学べる大学が少ないため。岐阜県にある国公立大学として学校指導の中心となるため。
- 文系学部のため、薦めたい。
- 生徒の実状に即して話を聞き、薦めたい。
- 地域科学部のような環境・生態系(岐阜の自然)への意識が一步後退したのかと感じる。
- 文系で地域科学部に関心を寄せる生徒なら、薦めなくとも自ら興味を持ちそうなジャンルだが、理系で工学部志望の生徒に向けては、ある意味必要だが、自ら興味を向けることがなさそうなジャンルだけに新しい選択肢となり得る期待が持てるから。
- まだ1年目であれば、なんとも言えません。
- まだ具体化されていないためどの程度の学課程なのか分からないため。

### <どちらかといえば薦めたい>

- 愛知県内の大学が多くあるため微妙であるが、岐阜県の特徴も盛り込んだカリキュラムがあれば薦めたい。
- 岐阜県内に経済・経営を学べる大学が少ないので、岐阜の高校生が通いやすいのではないかな。
- 岐阜大に進むことにより、将来的に岐阜県に残ってくれる可能性が上がるため。
- 国公立なので
- 自宅から通学できる距離にあり、地元で就職したい生徒には良いと思う。
- 地域の活性化に貢献したいという意思があれば。
- 地域社会のリーダーとして活躍したい生徒がいれば薦めたいと思います。
- 地元の国立大学として
- 地元の大学で学べる内容が広がる
- 地元の大学で経営学を学べるため。
- 地元を希望する生徒であれば薦める。一方で、課程の特色が現段階では不明な部分もあると考える。
- 本校の生徒は地元志向が強いから
- 学部・学科に対して課程との違いが不明であるので、生徒が不安に感じなければ良い（特に就職などについて）
- 経営学課程の魅力をもう少し分かりやすくアピールして頂きたいです。従来との違いなど。
- 経済・経営を志望し、自宅からの通学を希望する生徒にとって、良い目標となりそうだから。
- 県内に進学する生徒であれば、経営を学べる大学が少ないから。県外に出られる生徒の場合は、他県を薦めます。（新設なので）
- 東海地区に「経営」の名のある大学はないから、進路希望に応じて進めたい。ただし、カリキュラム等が複雑で、理解して伝えることが難しそうである。
- 興味のある生徒がいれば薦めたい。
- 生徒が希望するのであれば、積極的に進める
- まだ実績がないので。
- 近くに経営学を学べる国公立大学が少ないため魅力的であるが、就業実績を見てみないと何とも勧められないと思う。
- 通学を考える場合、選択肢の一つと考えられるが、実績のない課程を生徒に薦めるのは不安である。
- 5つの特色にはある程度魅力を感じるが、実際のところまだよく分からない。
- なぜ今、この地域にという思いが強いため。企業就職を考える生徒にとって、岐阜という地域で学ぶことがプラスになるのだろうか。すみません。後押しにならず。
- 経営学と経済学は大いに関連すると思います。ミクロやマクロの視点から経済学を学んだ上でのマネジメントではないでしょうか。
- 設置の趣旨は賛同できます。実際の教育内容のイメージが今ひとつわかりません。
- 愛知県内の大学が多くあるため微妙であるが、岐阜県の特徴も盛り込んだカリキュラムがあれば薦めたい。
- 岐阜県内に経済・経営を学べる大学が少ないので、岐阜の高校生が通いやすいのではないかな。
- 岐阜大に進むことにより、将来的に岐阜県に残ってくれる可能性が上がるため。

### <あまり薦めない>

- 既存の課程の方が整っているから。
- 他大にある。
- 愛知県内の私学には経営学を学べる大学が複数あり、岐阜大学経営学課程ならではの魅力をあまり感じない。フィールドワークや学部横断的内容は岐阜大学地域科学部の特徴であると考えから。
- 従来地域科学部が取り組まれていたこととの差別化が不明。すでに地元でも認知されている地域科学部を推すと思います。（地域科学部からスタッフが抜れるということでしょうか？）
- 地域科学部との違いがはっきりしていない。課程という考え方になじみがない。

- まだ判然としないから .
- (今の段階で)大学の学生がどのように学んでいくのかがはっきりとわからず薦めづらい .
- 具体像が見えない。一般的な経営学部と地域の視点が重なる。今までの名称で十分できる。
- 課程のイメージが浮かばないから .
- 基本となる学部・専攻が不明なので、現時点では薦めようがない。
- 内容がよくわかっていないから .
- 内容が良くわからない
- ある程度の結果や実績が出てから判断したい .
- 状況を見て、慎重に薦めたい。
- 薦める , 薦めない , の前に , 生徒が行きたいか行きたくないかの問題のため。

#### <薦めない>

- なぜ「経営学」なのか , という疑問がある。地域科学部をはじめ , 他の学部が存続するなか , 学部横断という形で「課程」を設置することに意味があるのだろうか。学際的な試みであれば , 他の大学がすでに取り組んでいるような「学群 , 学域 , 学類」等の組織編成を行えば良いのではないか。
- 学部ではないので不安が残るため。経済・経営と広い範囲で見ると , 静岡大学 , 滋賀大 , 三重大に同系統での実績ある学部・学科がすでにあるため。

#### <無回答>

- 岐阜県の各地域でのフィールドワーク等を通して , 地域課題について多面的・多角的に取り組んでいける人材を育て , 岐阜県全体を盛り上げて頂きたい
- まだはっきりしていないため、どちらとも言えません。
- 生徒にあったものであれば良いが , そうでなければ他を薦める。
- 生徒によります
- 個人の希望次第です

## ・新教育組織「経営学課程（仮称）」について、ご意見

### <グループ：名称・制度について>

- 「経営学部」にした方が、受験生は安心するかもしれません。
- もう少しわかりやすい形（学部にするとか）にした方がよい。
- **特色がわかる名称がいい。**
- 学部と課程の名称の違い、組織内容がはっきりとわかりません。
- 学部には所属しない学科（課程）の立ち位置がよくわかりません。地域科学部との明確な違いについてもう少し詳しく知りたいです。
- 経営・経済学部といったような名称の方が、何を学ぶ学部かわかりやすく、生徒も他県から集まると思う。あまり長い学部名では、生徒の検索に引っかからないと思う。
- 経営学課程と既存の地域科学部との位置付けが不透明。両者の特色についても同様。
- 経営学学士とはいうが、所属学部とは違う学士をとることになるのか。学部横断とはいうが、現実的に、地域科学部と教育学部以外には想像できない。本所属の学部・学科・専攻の学修はどうなるのか？。学部横断課程ではなく、学部・学科に属し、関係科目の学部横断受講ではダメなのか。
- 「学部」ではなく「課程」で独立させることで他学部を横断したカリキュラムを学ぶことができるとのことだが、率直に分かりにくい、地域科学部の一コースとして設置するなどしてもよいと思う。他学部の中に入って学べるのはメリットだが本来その学部で学ぶ学生もいると思うと肩身が狭い。
- 入試内容について詳細を教えてください、どのような力をもった生徒を求めているのかが明確になるので、よろしく願いいたします。
- C.T.有推薦入試を設定すると良いと思います。
- 全員数学II・Bまで必須にして募集してほしい。
- 推薦（センター試験を課さない）の入試も行ってほしい。
- 推薦等で岐阜県内枠を作ってもらいたい（愛知県の人ばかりになっては・・・）。
- どのような資格や免許が取得できるのか
- 定員が100名ぐらいあるとありがたい。

### <グループ：「あたらしい経営」に関して>

- 国公立の経営学部が少ないので、経営学を学びたい生徒にとってよい選択肢になると思います。
- 新しい経営の意義と必要性がもう一つはっきりしていない感じがします。
- 生徒が行きたくなる学部にして下さい。
- 裏面にある特色はすでに東海地区の大学がやっていると思いますが、どのように差別化をはかるのでしょうか。岐大工学部などは、産官学連係により地元企業とのつながりがありますが、同じように将来のビジョンを描ける学部になると良いと思います。
- 前任校が県立岐阜商業であったこともあり、経済/経営学部が標榜する方向性や、教育内容については、関心を持ってみてきました。が、ある意味、内容が盛りだくさんすぎて、学生がどの程度それらを消化できているのか、と疑問に思っていました。高校生は「経済学部」と「経営学部」の違いすらわからないところからスタートしているので、**まずは具体的に、そこでどんなことが学べるかを伝えていけたらと思っています。**
- 文化を学ぶ場が岐阜にほしいと感じている。

### <グループ：設置の趣旨・内容>

- 新しく設置することにより、選択の幅が広がり、良いと思います。他大学になく、岐阜大にしかない教育課程であると魅力的になると思います。
- 岐阜近辺で経済・経営学部のある大学は限られているので、（特に国公立）設置されれば受験生の選択肢が広がると思います。
- 岐阜県の経済界に大きく影響できるような組織になることを期待しています。

- 岐阜県は「ふるさと教育」を展開していることから、小・中・高・大と一貫したものができればと考えている。
- 現在岐阜県ではふるさと教育の推進を行っています。ぜひ、地元活性化に向けて岐阜をどう発展させていくのかその中心的研究・組織を担っていただけるとよい。
- 国立大学として、地域の文系ニーズ（経営）をひろっていく必要が合う。地域科学との兼ね合い（岐阜大学内）の狭い視野で考えるのではなく、少子高齢化、県外流出の視点をふまえ積極的な導入が望まれる。
- 時代のニーズに合わせたものになることを期待する反面、学部力が強い中で、大学での立場を確立できるのが疑問（不安）。
- 実習の内容を企業に丸投げしないというところに魅力を感じます。ぜひそうして頂きたいです。
- 地元就職したい生徒は多いので、その道となるようなことが学べると良い。加納高校のFRH事業とも交流してもらえると良い。
- 地元の高校生が地元のまちづくりを考える国公立があると（増える）と岐阜の活性化にもつながると思うので是非新設してほしい。（他の学科を減らさないでほしい）
- 大教室での学生つめこみ型授業ではなく、生徒によりそった授業が行われると良いと思います。
- 他大学との差別化ができるようになれば、生徒にとって魅力的な大学となると思います。
- 学部横断的な枠組みについて、生徒にどのように伝えていけばいいか、モデルケースと予想される進路先（就職先）など生徒ひとりひとりがビジョンを描きやすいように提示していただくと助かります。
- 大企業等の学習よりも地方大学の地域活性化等のことを重点にしていた方が良くないと考えます。
- 認知度を高めるための取り組みが相当時間必要だと考える。社会科学系の学問がこの地にできることは歓迎するが、地域科学部との横断的に展開ができるのか、等学問領域に固執しないところがほしい
- 別紙の5つの特色に興味をもちました。楽しく学べそうだと思います。是非、成功させていたきたいです。

#### <グループ：既存学部との差異>

- 今ある地域科学部とはどのように差別化を図るのでしょうか？
- 既存の地域科学部との関係は？地域科学部を廃止して、経営学課程をせっちするのか？地域科学部を残して新たに経営学課程を設置するのか？名前を変えるだけか？地域科学部がバージョンアップするモノと考えて良いのでしょうか？地域科学部は存在してほしい。
- 教員の確保はどうするのか。地域科学部はどうなるのか。
- 経営学課程として、往還型授業でPBLを勧められるということであれば、それはむしろ既存の学部で進められるべき授業改善だと思います。また、複数学部を横断するといってももともと学部が少なく、なおかつ地域科学自体が文理融合のトランスアカデミックな学部たることを志向していたはずで、ここにきてプラスするというのには違和感があります。
- 純増での設置であれば、なお良かったです。地域科学部に大きな魅力があるとも思っていますので、地域科学部が縮小されないようお願いしたいです。
- 地域科学との明確な違いを示して頂きたいです。
- 地域科学部と経営学課程の違いがわかりにくい。地域科学部の再編問題が浮上した際に、学生や教職員、OBOGらからあがった反対や不安の声に、真摯に向き合ってきた結果の構想であると信じたい。
- 地域科学部との差別化はどうかかるのか。または、地域科学部の中に設置するのか、学部の中身をわかりやすくするためにも地域科学部の中をカテゴライズした方がよい。教育学部の定員が減るのは高校としてはうれしくない。
- 地域科学部との差異がわからない。なぜ今「経営」なのか。地域科学部と同じように見える「特色」とは何か、見えてきません。

- 地域科学部との違いが、わかりづらいと感じるが学部の横断での学びができ魅力を感じる。研究機関に求めることではないかもしれないが、4年間で身につく能力を活かし、社会の活躍の場（例えば就職に関して）がより明確の方が学ぶ内容がわかりやすいと思います。保護者のニーズが就職まであります。
- 地域科学部の廃止の動きの中で出てきた語である印象があり、受験生や教員も不安な思いで見守っている現状です。このあたりのいきさつを説明して頂くと、（地域科学部を含め）我々も安心して進路指導ができると思います。
- 地域科学部の中でも学べるように思います。違いを明確化していただけると生徒へのアドバイスもしやすいように思います。
- まちづくり、観光デザインプログラムの学びと地域科学部の担う学びとの差別化はどうするのか

#### <グループ：その他>

- 生徒によって異なります。
- まだ具体的なイメージがついていないため、全体像が分かってから考えたい。
- わかりづらいので、かなり説明が必要だと思います。
- 特にありません。
- 特にありません。
- なし
- 特にありません。
- 特になし